

平成30年度 学校総合評価

1 今年度の重点目標に対する総合評価

(1)学習活動

- ① 生徒が授業の中で達成感が得られるよう、教科指導の充実と指導方法の改善を目標として、1、2学期に各2週間の互見授業期間を設定した。アクティブラーニングの視点から生徒の主体的・対話的で深い学びに力点を置く指導方法の情報交換を行った。特に今年度は本校の学校訪問を利用して各教科で学習指導案を検討したり、他校の授業参観やICT機器活用の研修会等に参加する教員も増加傾向にあり、授業改善に対する意識が向上している。
- ② 開設科目の学習内容や学習方法、評価方法を予め生徒にシラバスで示し、進路選択、科目選択に活用している。また、学習生活実態調査(5月)や授業アンケート(12月)を実施し、授業改善や生徒の家庭学習について検討する資料としている。

(2)学校生活

- ① 毎朝、駅頭や玄関前で正しい服装、挨拶の励行、遅刻の防止を呼びかけている。さわやか委員の生徒と一緒に取り組む期間も設定して、教員と生徒の人間関係を築きながら規範意識の向上や生活習慣が改善されるよう努めている。頭髪・服装指導については本年度から体育館での全校一斉指導日を設けた。また、月ごとに重点指導目標を設定して、生徒が具体的な目標をもって生活できるように配慮した。
- ② 今年度も継続してスマートフォンの使用ルールやネットトラブル防止に取り組んだ。スマートフォンの校内での使用違反件数は昨年度と比べて大きな減少はなかったが、ここ数年で大きく改善されてきた。

(3)進路支援

- ① 1年時は「県内上級学校・企業見学」、2年時は「インターンシップ・県外進路研修旅行」、3年時は「企業見学・オープンキャンパス」などにより、学年に応じて生徒の主体性を引き出すための体験や情報を提供している。また、保護者も参加できる進路ガイダンス、進路体験講座なども実施した。
- ② 今年度の新企画として、上市町や企業団体の協力を得て、1年生全員が上市町内の10事業所(企業)に分かれて職場見学を実施した。また、PTAの協力を得て、3年生の就職希望者に模擬面接を実施した。キャリア教育は充実の方向で動いている。

(4)特別活動

上市町社会福祉協議会や商工会との連携のもと、積極的なボランティア活動や地域行事へ参加し、特色ある学校・開かれた学校づくりの柱となっている。生徒は3年間で多くの良い経験を積み、地域を知る、体験する、貢献することにより、将来も地域に根ざした活動を続ける人材となることを期待できる。

2 次年度に向けての課題と方策

(1)学習活動

目指す生徒像の共通理解のもと、わかる授業で確かな基礎学力を身につけさせる必要がある。授業の更なる改善のための資料として、生徒への授業アンケート内容も精査したい。また、総合学科としての特色を生かし、各分野の学習や課題研究等においても地域を題材とした学習を模索したい。

(2)学校生活

挨拶運動、服装指導、遅刻指導、スマートフォンの指導を継続し、将来に直結する基本的な生活習慣の確立を図りたい。また、問題を抱える生徒には教育相談等による積極的な個別指導を行う。

(3)進路支援

個々の進路希望に対応できる学力を身につけると共に、地域、PTA、ハローワークなどとの連携を密にし、支援を受けられる体制を充実する。来年度は「職業を知る会」の新設や2年生のインターンシップを充実させる方向で検討、協力を依頼している。

(4)特別活動

現在定着している地域活動において、企画・運営の段階から町の諸機関と関わりをもてるように働きかけ、諸活動を通じて対話力・プレゼン能力も高めたい。また、来年度の創立百周年記念事業を生徒主体とする内容で計画しており、生徒の活動を活性化させると共に、HP等で地域に情報を発信したい。